

淡輪地区福祉委員会

～みんなのたまり場～

発行 令和5年7月1日

発行責任者 阪下 伸

090-4272-9941

第31回淡輪地区福祉委員会総会を5月に開催し、新しい役員が加わり新年度の活動計画が承認され、令和5年度の活動が始まりました。

本年も、社会福祉協議会の会員募集にご協力頂き、有難うございます。皆さまのご支援・ご協力により、福祉委員会は活動できております。

福祉委員会活動を地域の皆さまへお伝えしたいと思い、本広報紙を作成しました。ご拝読して頂ければ幸いです。

～令和4年度 福祉委員会活動～

福祉共育推進事業



「こどもサロン みんなのたまり場映画会」

夏休み企画として毎年児童・学童の皆さんを対象にした映画会を開催しています。新型コロナ感染予防対策を実施し、過密にならないように2日間に分けて行いました。

7月27日は、1～2年生37名が「ポケモン」

28日は3～6年生40名が「鬼滅の刃」

観終わった後には、子どもたちから『楽しかった、ありがとうございました。』とお礼の言葉がありました。

多賀井尚武

「戦争体験聞き取り学習」

8月9日に淡輪小学校体育館において、5年生63名が参加して戦争体験聞き取り学習を行いました。

福祉委員の渕原スエ子さんが戦争当時小学生だった体験話をとても分かりやすい語り口で話され、子どもたちは、銃の弾が腕を貫通した話などを聞き、知らず知らずのうちに話に引き込まれているようでした。参加した子どもたちには、命について深く考えてもらうことが出来たようです。

多賀井尚武



地域交流事業



「グランドゴルフ」11月3日（木）文化の日

澄み切った青空、ポカポカ陽気、ほめようのない気持ちのいい天気の中、先発と後発に分かれ49名の参加者がスタートしました。

今回で4回目の参加になりますが、まっすぐ飛ばず、また横にはずれ、数メートルで届くゴール地点ではオーバーして、思い通りにいかず。それでも、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。お世話してくださった愛好会の方々、本当にありがとうございました。

川嶋啓子

福祉共育推進事業



「昔の暮らし体験学習」 1月27日（金）

小学校3年生の子どもたちと福祉委員との交流をメインに、昔の暮らし体験を行いました。

最初に昔の淡輪村の航空写真を基に現在と比較しました。次に、各教室（着物の着付け・昔の家庭道具・昔の農機具・昔の学校）をめぐる、各教室でそれぞれ着物や道具を「見て」、「触り」、「動かし」、「尋ね」ました。

竹内邦博

「車いす体験学習」

2月9日（木）、晴天のもと、淡輪小学校車いす体験学習に、福祉共育事業の一環として参加しました。

岬高校生徒会から4名、および福祉委員会から26名総計30名の参加により無事安全に小学校周辺の道路を車いすで歩いてきました。

今回のミッションは、

- ①公衆電話ボックスに入れるか？
- ②切符を買えるか？
- ③自動販売機でおしるこを買えるか？
- ④郵便ポストに投函できるか？

なかなかの難題でした。

川村富美代



防災減災研修事業



「防災減災研修」 2月21日（火）

岬消防署の指導の下「心肺蘇生法」と「AEDの使用法」及び「消火器の操作」について講習会を行いました。岬消防署の熱心でユーモアを交えた解りやすい指導の下、「人にするよりも自分がされる方や」と言いながらも熱心に全員が取り組みました。

救急車が来るまでの応急処置により命が助かった事例はあります。万が一の場合に備えて日ごろから防災・減災に取り組んでいくことが自分を・家族を、人々を災害から守ることを再認識した講習会でした。

南條磯己

編集後記

コロナ禍が収まるにつれ、福祉活動が拡大してきました。記事数が多くなり、各記事の字数も多く、読みにくくなったかと思います。

淡輪地区福祉委員会の広報活動を通じ、地域の皆さまのご理解を頂き、今年度の地域の福祉活動を行っていきたいと思います。今後ともご支援をお願いします。

久保幸夫